

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

若さ溢れる「高専ソコチカラ」

新居浜高専奇術部支部が演技を披露

新居浜工業高等専門学校恒例行事である「第28回高専ソコチカラ」が、令和2年2月29日(土)、新居浜市のあかがねミュージアムで『春雨』をテーマに開催されました。日本のお手玉の会の新居浜高専奇術部支部(香川福有会長)は、例年この行事に運営も兼ねて参加していますが、今年も出演してトリを務めました。



今年、新型コロナウイルスの集団感染が問題になっているため、入場者としては高専の学生と教職員など関係者と、出演者の家族に限定しての開催となりました。(写真右：第28回のフィナーレ)



ステージ部門では、吹奏楽部の演奏、声楽愛好会のコーラス、美術部や書道部のパフォーマンスアート、軽音楽部のバンド演奏、ダンス愛好会のダンスなどがありました。



奇術部は、ステージ部門に出演し、奇術というよりもお手玉遊びに近い、ボール、リング、シェーカーカップなどの投げ技のジャグリングを中心とした演技を披露し、会場を魅了しました。今年度は、5年生が9名いて、これが最後のパフォーマンスとなるため、どの演技も熱のこもったものとなり、会場から大きな声援が送られていました。



お手玉の活動を後輩に託し5年生が9人卒業

また、5年生のうち、4名(山田晃陽、鈴木祐大、兵頭克樹、渡邊花音)は、新居浜市の小学生を対象とした夏休みの放課後児童クラブのお手玉教室や、市内の老人福祉施設へのお手玉慰問などの活動に、5年間を通じて、特に積極的に取り組みました。その功績を称えて日本のお手玉の会の宮中雲子会長から「学生奨励賞」が贈られています。



新居浜高専奇術部支部のチームは、新居浜市で開催されているお手玉遊び市民大会の団体戦で、平成30年、令和元年と2年連続で優勝しています。

来年度からも、新居浜高専奇術部支部のみなさんは、歴代の先輩の遺志を受け継ぎ、お手玉遊びの普及活動に積極的に取り組んでいくという意思を示しています。

(写真左上から：山田晃陽(5年生)のシェーカーカップ、羽藤有紀(5年生)のディアポロとエイトリングなど、越智啓介(専攻科2年生)のリング、長尾和奏(5年生)のメディオとポイなど、鈴木祐大(5年生)のマジック)